



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 助川電気工業株式会社

コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小瀧 理

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 深澤 優

TEL 0293-23-6411

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	3,447	5.4	284	2.6	281	1.0	184	7.1
27年9月期第3四半期	3,269	△19.4	277	△29.3	279	△30.4	171	△32.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	29.78	—
27年9月期第3四半期	27.18	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年9月期第3四半期	6,368		3,624		56.9	
27年9月期	6,292		3,787		60.2	

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 3,624百万円 27年9月期 3,787百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年9月期	—	12.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	11.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,532	6.1	369	10.4	364	8.9	222	6.2	35.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	6,710,000 株	27年9月期	6,710,000 株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	642,213 株	27年9月期	386,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	6,181,223 株	27年9月期3Q	6,324,075 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注および販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府や日本銀行による各種経済・金融政策等を背景に、企業収益や雇用環境に改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移していましたが、年明け以降、中国を始めとする新興国や資源国の景気減速懸念、イギリスのEU離脱問題に端を発する株式市場や為替相場の急激な変動により、先行きの不透明感が高まっております。

このような状況のもと、当社におきましては、シーズ型の熱電対・ヒータ・信号ケーブル等を中心に受注の確保および電磁ポンプを軸とする溶融金属機器の充実を図るとともに、個人別稼働計画の推進等により社内の生産体制の最適化等を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は34億4千7百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は2億8千4百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は2億8千1百万円（前年同期比1.0%増）、四半期純利益は1億8千4百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連につきましては、研究開発機関向けの原子力関連製品が減少したことにより、売上高16億3百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益（営業利益）2億4千8百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

産業システム関連につきましては、FPD（液晶および有機EL）製造装置関連製品、特に液晶製造装置向け基板ヒータが好調であったこと、また溶融金属機器が増加したことにより、売上高16億9千1百万円（前年同期比25.5%増）、セグメント利益（営業利益）2億7千3百万円（前年同期比48.2%増）となりました。

その他につきましては、売上高1億5千2百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益（営業利益）1千6百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は63億6千8百万円となり、前事業年度末に比べ7千5百万円増加しました。負債は27億4千3百万円となり前事業年度末に比べ2億3千8百万円増加しました。純資産は36億2千4百万円となり前事業年度末に比べ1億6千3百万円減少しました。

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態に関する分析は以下のとおりであります。

#### (流動資産)

流動資産は、前事業年度末から8百万円減少し、38億3千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加した半面、現金及び預金、仕掛品が減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

固定資産は、前事業年度末から8千4百万円増加し、25億3千3百万円となりました。これは主に、減価償却等による減少があった反面、建物等が増加したことによるものであります。

#### (流動負債)

流動負債は、前事業年度末から1億9千2百万円増加し、23億5千3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

固定負債は、前事業年度末から4千5百万円増加し、3億8千9百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前事業年度末から1億6千3百万円減少し、36億2千4百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上があった反面、自己株式の取得、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月12日付の「平成27年9月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,165,203	935,980
受取手形及び売掛金	1,645,277	1,875,693
電子記録債権	123,953	168,582
商品及び製品	140,371	158,722
仕掛品	399,241	316,864
原材料及び貯蔵品	288,163	313,184
その他	85,068	69,443
貸倒引当金	△3,600	△3,600
流動資産合計	3,843,680	3,834,869
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	582,120	672,035
土地	886,304	886,304
その他(純額)	235,741	292,260
有形固定資産合計	1,704,166	1,850,600
無形固定資産	35,689	37,237
投資その他の資産		
その他	714,441	647,857
貸倒引当金	△5,179	△2,479
投資その他の資産合計	709,262	645,378
固定資産合計	2,449,118	2,533,215
資産合計	6,292,798	6,368,084
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	433,309	528,129
電子記録債務	138,626	180,534
短期借入金	1,240,000	1,300,000
未払法人税等	40,001	6,722
賞与引当金	74,490	18,825
その他	234,603	319,364
流動負債合計	2,161,030	2,353,576
固定負債		
長期借入金	37,312	93,776
退職給付引当金	274,110	269,637
その他	32,679	26,537
固定負債合計	344,101	389,951
負債合計	2,505,132	2,743,527

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金	1,164,309	1,164,309
利益剰余金	1,872,223	1,920,286
自己株式	△214,209	△367,354
株主資本合計	3,743,423	3,638,341
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,242	△13,784
評価・換算差額等合計	44,242	△13,784
純資産合計	3,787,666	3,624,557
負債純資産合計	6,292,798	6,368,084

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,269,095	3,447,197
売上原価	2,407,341	2,586,936
売上総利益	861,753	860,260
販売費及び一般管理費	584,199	575,486
営業利益	277,553	284,773
営業外収益		
受取利息	3,236	3,072
受取配当金	5,871	5,449
その他	10,452	7,964
営業外収益合計	19,560	16,486
営業外費用		
支払利息	13,498	13,593
その他	4,589	5,808
営業外費用合計	18,087	19,402
経常利益	279,026	281,857
特別利益		
投資有価証券売却益	4,075	—
特別利益合計	4,075	—
特別損失		
減損損失	4,566	—
特別損失合計	4,566	—
税引前四半期純利益	278,536	281,857
法人税、住民税及び事業税	45,039	77,298
法人税等調整額	61,586	20,452
法人税等合計	106,626	97,751
四半期純利益	171,910	184,106

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,746,257	1,347,459	3,093,717	175,378	3,269,095	—	3,269,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,746,257	1,347,459	3,093,717	175,378	3,269,095	—	3,269,095
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	328,754	184,484	513,239	△2,428	510,810	△233,256	277,553

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。  
 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△233,256千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,603,364	1,691,101	3,294,465	152,731	3,447,197	—	3,447,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,603,364	1,691,101	3,294,465	152,731	3,447,197	—	3,447,197
セグメント利益	248,617	273,360	521,978	16,621	538,599	△253,826	284,773

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額△253,826千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注および販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,434,922	77.5
産業システム関連	1,735,838	117.5
その他	3,852	88.4
合計	3,174,614	95.2

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第3四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,271,824	87.8	940,929	82.0
産業システム関連	1,790,209	108.7	816,088	116.5
その他	3,852	88.4	—	—
合計	3,065,885	98.9	1,757,017	95.1

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,603,364	91.8
産業システム関連	1,691,101	125.5
その他	152,731	87.1
合計	3,447,197	105.4

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。